

山や草むらで野外活動をする時には、マダニに注意しましょう

春から秋にかけて活動が盛んになる“マダニ”。墓参りや里帰り、キャンプなど、屋外で過ごす時間が増える8月は特に注意しましょう。

“マダニ”ってなあに？

ダニの一種で、人や動物に寄生して吸血をします。体長は2～3mm程度で、山や草むら、畑などに生息しています。

ウイルスを持つマダニに咬まれると、重症熱性血小板症候群(SFTS)や日本紅斑熱などの感染症にかかることがあります。咬まれても、痛くなったりかゆくなったりしないため、気づかれにくいことが多いので、注意が必要です。また、直接咬まれなくても、マダニに咬まれてウイルスを持っている人や動物の体液に触れることで、感染することもあります。



マダニから身を守るために

【こんな服装がオススメ！】



① 肌の露出を少なくする

帽子や手袋を着用し、首にはタオルを巻いたりハイネックのシャツを着用したりして、肌の露出を少なくしましょう。

② 長袖・長ズボンを着用する

シャツの裾はズボンに、袖は手袋の中に入れてみましょう。また、ズボンの裾も靴の中に入れて、衣服内へのマダニの侵入を防ぎましょう。

③ 明るい色の衣服にする

マダニが衣服についたときに目視で確認しやすくするため、白など明るい色の衣服を選びましょう。

④ 足を完全に覆う靴を履く

サンダルは避け、スニーカーや長靴など、足が完全に覆われる靴を履きましょう。

【野外活動後は、マダニがついていないか確認しよう！】

- ・上着や作業着は家の中に持ち込まない。
- ・着用していたものは野外ではたき、衣服についているマダニを落とす。
- ・帰宅後は、すぐにシャワーを浴び、体にマダニがついていないか確認する。

マダニに咬まれてしまったら…

吸血中のマダニに気が付いても、無理に引き抜いてはいけません。無理に引き抜いてしまうと、マダニの一部が皮膚の中に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあります。皮膚科などで適切な処置をしてもらいましょう。また、咬まれた日付、場所、何をしていたかを記録しておきましょう。

数週間程度は体調の変化に注意をして、発熱などの症状がみられた場合は医療機関を受診しましょう。



(健康推進課)



くまの・こども夢プラザ 子育て支援センター通信

くまの・こども夢プラザ 子育て支援センター
ファミリー・サポート・センター
(熊野町貴船9-14)
☎820-5502 ☎855-0805
開 平日(祝日・年末年始を除く) 9:30~17:00
毎月1回土曜日または日曜日 9:30~11:30

お誕生会



5月生まれのお友だちをお祝いしました♪

子育て情報は「熊野町公式LINE」から発信しています



友だち登録
お願いしますりん♪

町公式LINE



ホームページ



【要予約】ベビーマッサージ講座「ゆめりん」(生後2か月頃～)



ベビーマッサージであかちゃんの免疫力を高め、脳の発達を促します。ママのストレスを緩和する効果もありますよ。



【注意事項】

託児利用者優先となります。託児利用をしていない人は、2週間前から予約できます。



同室託児があるので、上の子を連れての参加もOK♪

【無料貸出事業】子育て家庭に自転車などの貸し出しをしています！

町内在住で、臨時的に自転車などが必要になった人に「幼児同乗用自転車」や「自転車幼児用座席」、「チャイルドシート」などの無料貸し出しをしています。



電動アシスト自転車は4台ありますよ♪

ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートがあります！



申 申込書をくまの・こども夢プラザに提出

【注意事項】・予約は1か月前から可能です(電話可)。

- ・数に限りがあるため、お待ちいただく場合があります。
- ・自転車貸出の際は、交通安全講習動画(10分程度)を見ていただきます。

▼詳しくはこちら

